

東津軽郡 小・中学校教頭会

「学校における働き方改革」を テーマに研修会を実施！



令和7年1月31日、「学校における働き方改革」をテーマに東津軽郡小・中学校教頭会第5回研修会が青森市古川市民センターにて開催されました。

研修会では、県教育委員会が実施する「学校業務改善伴走型支援事業」の委託業者である株式会社先生の幸せ研究所のコンサルタントによる講演のほか、他県で実際に業務改善に取り組んでいる現役の教頭先生2名をお招きしての座談会が行われました。

研修会の様子



講演会

コンサルタントの若林さんによる講演です。働き方改革の目的、ボトムアップ型ワークショップなど業務改善を進める上での有効な手段、マネジメントとリーダーシップの違いなど、管理職にとっても有意義なお話をいただきました。



座談会【中学校部会】

埼玉県戸田市立笹目東小学校教頭崎山英則先生からは、40分授業（4月～7月）のシーズン制、チーム担任制、学校独自のボランティア募集など実践事例を中心にお話いただきました。



座談会【小学校部会】

愛知県江南市立布袋中学校教頭長瀬基延先生からは、部活動改革や授業改善など、御自身の実践を基に貴重なお話をいただきました。先生方からもたくさんの質問が出され盛り上がりしました。

参加者の感想

実際の現場で改革をされている教頭先生からのお話を聞けるのは、大変貴重な時間になりました。特に直接質問を投げかけて答えていただく時間があってよかったです。自校でも先生方の余白をつくる取組を始めたいと思います。

学校現場で働き方改革に取り組む上で、全員が同じくらいの高いモチベーションになりにくいことを自分自身も感じていました。しかし、「質の高い学びの実現」を目指して、「授業改善」と「業務改善」の両輪で行うのは、組織全体で取り組めそうだと思いました。

平日16:50に終わる部活動、複数顧問によるローテーション、文化部の顧問は無し（先生方の交代での巡回のみ）等の取組は斬新でした。全部でなくても一部真似しやすいくところから取り入れてみる価値は十分にあると感じました。

お知らせ

令和7年度も「学校業務改善伴走型支援事業」を実施します！

令和6年度は、小学校4校、中学校5校、高等学校2校の計11校において、伴走型支援事業を実施しました。外部専門家の支援を受けながら、各学校が主体的に業務改善を進めています。

令和7年度は、実施校を大幅に拡充してこの事業を継続します。募集方法など詳細につきましては、県教育委員会のホームページに掲載しています。

「まずはやってみよう！」のマインドで、あなたの学校でも取り組んでみませんか？新年度もたくさんの御応募をお待ちしています！！

詳細はこちらを
ご覧ください！

